



# 京都企業トップに聞く

堀場製作所社長

足立正之氏

—自動車産業の動きをどう見ていますか。

「これまでの急激な電気自動車（EV）シフトの流れは変わったが、EVの台数は世界的には増えるだろう。ただ、ハイブリッド車（HV）開発向け排ガス計測システムなども好調で、エンジンが急に無くなることは考えられない。排ガス関連の装置は、規制対応だけではなく高効率・低排出で内燃機関の開発に貢献できることから長年手がけていた。EV開発に向けた装置も展開しているため、全方位で力を入れる方向性は変わらない」

——水素社会に向けた装置の提案にも力を入れています。

「足元では水素関連の投資は落ち着いているが、水素は確実に将来のエネルギーとして役割を果たす。インドでは、水素燃焼エンジン専用の試験ラボが軌道に乗り始めた。インド国内は自動車産業も多く、いろいろな会社から見に来てもらっている。燃料電池評価装置などを手がけるドイツ子会

## EV・HV装置開発に尽力

社は製造や投資などによるコストが課題だったが、生産の効率化やモジュール化に力を入れており、2022年度での改善は見えている」

「五つの事業セグメントを再編し、24年度から三つの注力分野での社会課題解決に向け、事業展開しています。

「以前からセグメントを超えて仕事をしたら面白いのではないかと準備してきた。顧客にも当社の製品を（点ではなく）面で見てもらえるようになった。営業部隊が『新しいチャンスを自由に取つてこられる』とやる気になつておらず、効果が出ている」

ニチコン社長

森 克彦氏

—急速充電器など、エネ  
ルギー・環境関連製品を手

# エネマネ事業に注力

がけるNECUST事業の状況は、「直近」蓄電システム製品を市場投入しており効率的な出荷で着実に売上げにつなげていく。さくらに医療機器や大学などの技術研究用の特殊電源が好んで、将来は核融合向けも待している」

—EVや太陽光発電、家庭用蓄電池など、分散型エネルギー資源の普及が進んでいます。

「当社も蓄電池など機の販売だけでなく、エネルギー・マネジメント事業に力をする必要がある。電力会社やアグリゲーターとのライアンスに向けた協議を進めている」

# SCREEN ホールディングス社長

# 後藤 正人氏

「洗浄装置をはじめとする半導体製造装置の事業環境は、(年初の)米国における新政権誕生以降、顧客が設備投資の時期を見直し、半年ほど見送られたモノもあった。」にきて、ようやく混沌とした状況も落ち着きだし、今後は顧客の投資計画が具体化していくだろう。半導体の国産化を目指して性能を上げるのが業界の動向。(パネルの素材や本上の標準)はまだ決まっていないが、パネルレベルのパッケージングが今後どんどん広がっていく。当社装置の売り上げも徐々に増えてき合いも以前より落ち着いた。現地の装置メーカーたちは出てきているが、当社の洗浄装置が主戦場とする先端ロジック分野での優位性は保つたままだ」

—成長領域であるアドバンスドパッケージ(先進後工程)向け装置の動向は。

「コスト面などを考慮し、パッケージングも含めて性能を上げるのが業界の動向。(パネルの素材や本上の標準)はまだ決まってないが、パネルレベルのパッケージングが今後どんどん広がっていく。当社装置の売り上げも徐々に増え

## 先進後工程の売上伸長

ており、来期以降もさらに伸びるのではないか

—半導体分野に偏重したポートフォリオ変革のため、新規事業育成に取り組んでいます。

「（水電解装置向け部材などの）水素エネルギー関連は米新政権誕生以降、スローダウンした。ただ水素は化石燃料を代替するエネルギーの一つとして必要性は認識されており、計画がなくなつたわけではなく、先送りになつた状況。また（細胞イメージングシステムなどの）ライフサイエンス関連の育成にも取り組んでいるが、時間がかかる分野だ。腰を据え素々と進め

NISSHA社長

鈴木 順也 氏

は。—2025年の事業環境 グリルがない)電気自動車(EV)は車体にデザインを施すトレンドがある。EV以外でも当社製品をライ

くないと感じている。その典型が自動車。現在も力強くはない」

ー自動車分野の成長戦略は。

「内装向け加飾フィルムや成形品を長年手がけてきたが、25年に外装向け事業を本格化した。(フロント

外装向けの売り上げを上乗せする」

—IT機器向けに偏重する売り上げ構成からのポートフォリオ変革を進めてきました。

「タブレット向けは需要に合わせて生産量を最適化し、固定費を減らすフェーズにある。24年に見込んでいたよりも需要矢速が早いと感じ、25年1月、タッチセンサーの二つの工場を一  
つに集約した。Bツーバ

# 成長市場に絶えず挑戦

(企業間)企業で中間資を手がける当社は顧客の不調の影響を受けやすく需要の変動を自社でコントロールできない。市場が小すれば、てこ入れや撤をし、成長市場に挑戦する宿命にある

—成長市場への挑戦の体例として、医療機器が挙げられます。

「米国を中心<sup>ム</sup>に医療機の開発・製造受託(CDIO)を手がけており、足は好調だ。事業加速に<sup>ム</sup>け、米テネシー州の大学共同ラボを設けた。精密技術の操作性を向上す部品や技術の開発に取り

島津製作所社長

山本 靖則氏

—中期経営計画最終年度です。振り返りや課題、次期中計で注力していく点は。

「2023—25年度の中計は、人事制度改定などを通じた人への投資や、北米でのR&D（研究開発）センター設立による開発投資、分析機器の中国新工場設立、営業面の体制変更など将来に向けた土台作りに力を入れた。費用が先行して、たため、営業利益面で課題が残るが、今後の業績につながればと考えている。半国でR&Dセンターを作ったこともあり、次期中計でたため、営業利益面で課題が残るが、今後の業績につながればと考えている。半

期中計で注力していく点は。

「2023—25年度の中計は、人事制度改定などを通じた人への投資や、北米でのR&D（研究開発）センター設立による開発投資、分析機器の中国新工場設立、営業面の体制変更など将来に向けた土台作りに力を入れたい」

—北米のR&Dセンターの稼働状況は。

「装置の設計・開発を顧客と一緒にできる施設で、検査会社や製薬会社と共同研究が始まっている。すでに顧客向けにカスタマイズして開発した質量分析計もあり、好調だ。今後は、すぐに結果が出なくても世の中の役に立つテーマで共同開発していきたい」

## 将来に向けた土旨作り

動をする。将来的には欧州やアジアにも同様の機能を持つ拠点を開設したいと考えている」

「半導体製造装置向けターボ分子ポンプ（TMP）のビジネス網を活用し、半導体市場向けにも分析計測製品を展開する活動に力を入れています。

「以前から展開しているが、改めて力を入れていく。半導体製造工程では、使用する超純水やガスのモニタリングなどで分析需要がある。TMPのサービスの体制も活用しながら、半導体製造工程向けにも装置の販売を拡大していきた

石田 隆英氏

イシダ社長

—食品工場などで無人化や省人化の需要が増えていきます。

「人手不足に伴う機械への代替、海外は人口増加や移民抑制などの影響で、国内外とも総じて好調だ。電子棚札や箱詰め作業などを

行うオートケーサーは25年ほど前から仕込んでいた製品で、ようやく花が開いた。前倒しで達成する可能

性もあるが、2030年3月期に連結売上高2030億円（25年同期比約14%増）を目指しております。

—将来成長に向けた「未来創造プロジェクト」をスタートしました。

—10～20年後の成長に向けた新しい種まきを始めた。食品工場向けに展開する産業用機械は、工場無人化を目指して、段取り替えや清掃検査工程などの人手がかかる工程に向けた製品開発に力を入れる。スパンクなどの流通向けは、電子棚札を使った需要をもつと取り込みたい。（必要な

## 成長に向けた種まき

「人口が多いインドや  
フリカは中長期的な海外  
戦略では要のエリアだ。  
だ、インド国内は価格重  
視のため、許容できる価格  
範囲内でのプレミアムな  
機械『アフォーダブル・プ  
ラスチック・マシン』を今後作ら  
ねばならない。現地には  
フットウェアの技術者はい  
ないが、電気やハードウェア  
技術者がいないため、早  
くに雇用してインドの市場  
に参入する。また機械を一から開発  
する体制を整えていき  
る」







# はく 膜 技術 で 世界の産業科学に 貢献する。

半導体製造装置の  
サムコ株式会社  
**samco**<sup>®</sup>  
PARTNERS IN PROGRESS

〒612-8443 京都市伏見区竹田薫屋町36 TEL:075-621-7841

# 府・市、半導体産業振興で協力



入居する  
京都リサーチバーク1号館



10月に開催した「A.I.時代に向けたものづくり産業成長戦略サロン」

京都府と京都が協力し、半導体産業の振興に向け動き出した。京都府の代表としての京都府副知事は、「京都府と京都が協力していくべく、まずは実態調査」とポテンシャルを強調した。

府外企業からも京都を評価する声が聞かれ。日本IBMの高橋Iが9月に開いた「セミコン台湾」に京都パク事業所長は「非常に高い技術を持つメーカーが多い」と話す。同事業所は7月に開設したばかりの研究開発拠点で、開設を契機に協業やオープン化しようとしている。

一方、交流会は「AI時代に向けたものづくり産業成長戦略サロ

ン」と銘打ち、月1回開催する。環境の変化に経営を左右されやすい中小企業に対しても、調査結果などを実態を把握して25年度中に調査結果を取りまとめ、調査結果などをもとに来年度以降の取り組み内容を具体化す

度、府内半導体産業の実態調査や企業のビジネス機会拡大のため、それぞれ予算を計上。世界有数のデバイス、装置メーカーに加え、大学など研究機関も集積する京都のポテンシャルを生かし、地元経済の底上げにつなげられるかが注目される。きっかけは「府市トッピング（旧府市懇談会）」だ。西脇隆俊知事と松井孝治市長は、24年7月の第2回ミーティングで半導体産業振興に向け協力をすることで合意。西脇知事は「半導体関連企業や大学での素材開発など、京都は半導体会への出展支援と交流は大きく三つで、展示はそれぞれ1500万円ずつ計上。取り組みは、AI（人工知能）など先端技術へのキャラアップを促すのも

京都企業の展示会出展支援として、半導体の国際業界団体SEMの参入ハードルを下げたい」と開催の狙いを話す。

直近の10月に開かれたサロンは光電融合がテーマで、講師にNTTから才田隆志NTTデバイスイノベーションセンタ長を招いた。来場者は自社技術が光電融合にどう生かせるかなどを才田氏に質問し、意見交換した。

さらに踏み込んだ活動も視野に入れていく。まず府・市は半導体関連企業を調査し、体連企業を調査し、

産学集積強み生かす

「足元では米国による関税政策の影響をどう捉えていま  
すか。

「足元では米国による関税政策の影響で、各企業が生産拠点の見直しなどが求められて  
いるが、当社は現地生産・現地販売が中心のため、影響は今のところ限定的だと考えていい

—電動化の潮流変化が激しいです。

「バッテリー電気自動車(BEV)用リチウムイオン二次電池(LiB)の需要は長期的には確実に拡大していくと予想するが、現在は世界中でBEVの潮流が変化し、ハイ

阿部 貴志氏



## フレキシブルに対応

プリッド車（HEV）やプラグインハイブリッド車（PHEV）の需要が高まっている。当社は内燃機関（IC）E）車向けをはじめ、電動車にも搭載されている鉛蓄電池に加え、HEV用、PHEV用、BEV用、12ボルト補機用LiBをラインアップしている。不透明な環境下でも真価を發揮できる、『マルチバッテリーソリューション』を強みとして、電動化がどの方向に進んでも、顧客や市場の動きにフレキシブルに対応し、事業の安定性を確保する「再生可能エネルギー」や電力の有効活用のための電力貯蔵システム（ESS）の需要が拡大しています。「日本国内の再生可能エネルギーの導入拡大は重要な課題だ。自然エネルギーは天候に左右されるため不安定だが、解消するためのデバイスがESSで需要が拡大している。ESS用LiBについて多くの引き合いがあり、生産能力を増強して需要に対応していく」と



# Leaders in Trusted Technologies

私たちちはお客様に信頼される技術で市場のリーダーを目指します。



Branding Site

X (旧Twitter)

**NISSHA**

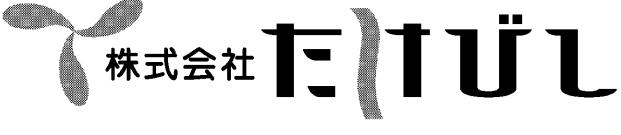


# 京都発 最強の トータルソリューション商社へ

!Link  
ビックリンク

**!UNK** 人と人、技術と技術を信頼で結び、  
ピックリンク 輝く未来を創造する

2026年、たけびしは創立100周年。



# TAKEBISHI CORPORATION

# 京都企業の分析トレンド



分析・計測機器は医療や半導体、食品、環境分野など幅広い分野の研究開発や品質保証に使用される重要な装置。日本分析機器工業会（JAIMA）と日本科学機器協会（JSIA）が9月に、幕張メッセ（千葉市美浜区）で開いた分析機器と科学機器の展示会「JASIS 2025」には、京都企業も多数出展して、最新技術を披露。多くの来場者が足を止めた。

島津製作所は会場で最大規模のブースを構えた。最新の分析機器・装置はもちろん、自動化や分析条件の自動化などを展示し、ラボの属人化を解消して、島津製作所は会場で最大規模のブースを構えた。最新の分析機器・装置はもちろん、自動化や分析条件の自動化などを展示し、ラボの属人化を解消して、

研究者がより高度な作業に取り組むため、人手による煩雑な作業をロボットに置き換える分析の自動化コンセプトも展示。液体クロマトグラフ（LC）で分析する化合物の分析条件をAIが自動的に提案するサービスや、分析後の解析で、分析データと登録済み正解データを照らし合わせて、不純物混入などの異常を検出するソフトウエアなどをアピールした。

堀場製作所は、今回同社史上最大のブース規模で出展した。エネルギー・環境、先端材料・半導体、バイオ・ヘルスケアの三つの事業領域とともにそれぞれ社製の分析機器とロボ

機器を展示し、ブースの目立つ位置では分析の自動化などをアピールした。

今後は分析機器・装置単体のみでの販売はた。不純物を含む低度のフラクション（八別物）を廃棄せずに回収するなどと高純度で解決に寄与するようつづけた。



JASIS、最新技術を披露



JASIS、  
境は。  
（人工知能）  
ス、ハイエ  
ト向け低誘  
ウムイオ  
（L.iB）  
複合接着  
（スー）が好  
樹脂は既  
の稼働率が  
起え、休日  
2倍にかさんでおり、  
返上で生産している。  
既存設備の改修による  
増産が2026年2月  
に始まることや、協力  
工場での生産で来年度  
中の需要はまかなえ  
る。その先は新プラン  
トが必要だが、鋼材や  
人件費の上昇で設備投  
資額が従来比1・5倍  
で増産



第一工業製薬社長

山路直貴氏



# 低誘電樹脂好調で増産

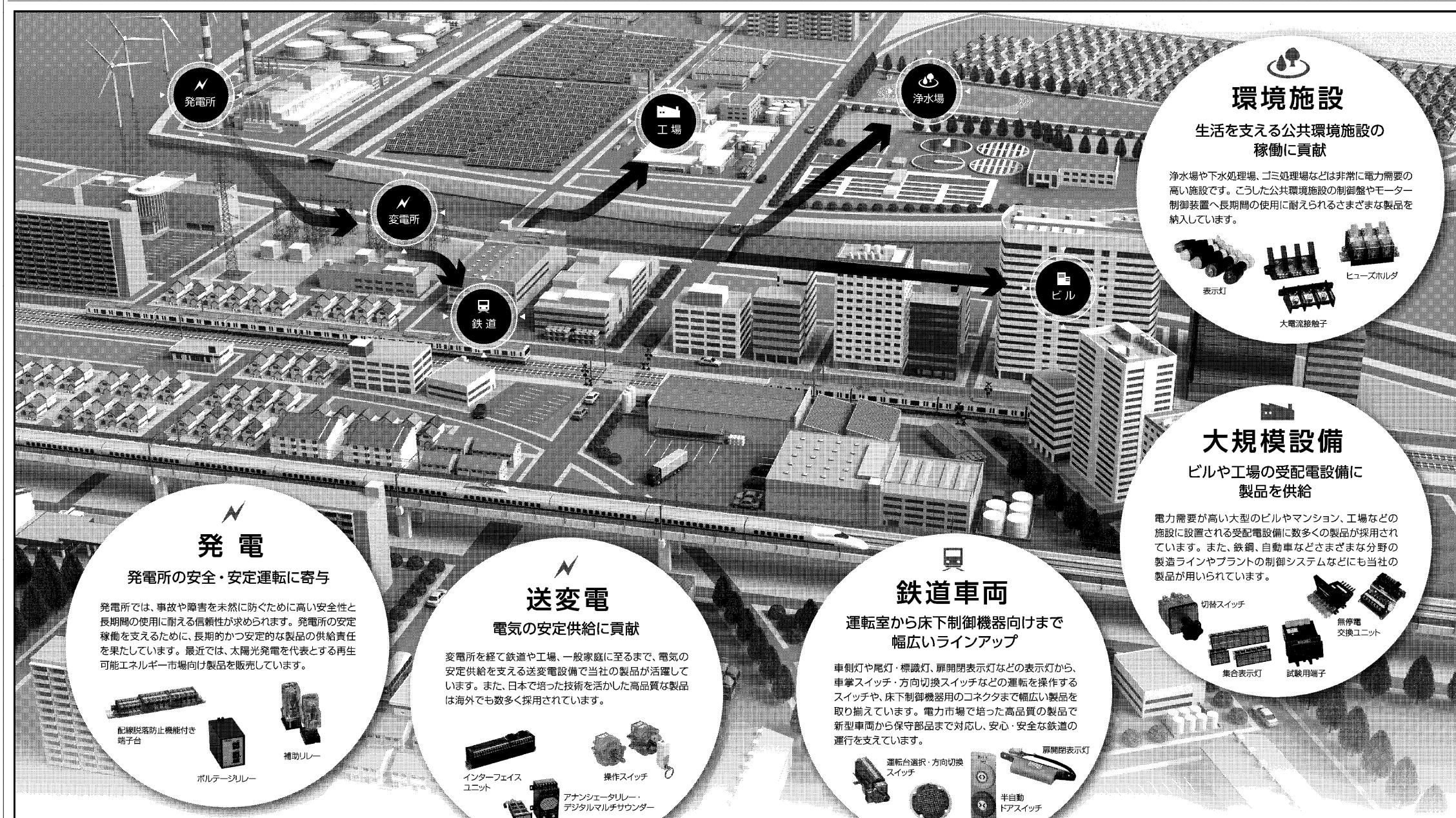
慎重に検討する」  
　一方、汎用品は中國勢との競争が激化しています。

「中国勢が大量生産による安価製品で攻めてきている難燃剤や界面活性剤が厳しく、多少のコストダウンでは対応しきれない。値上げで利益が出る製品は薄利でも販売を続けるが、そうでなければ縮小・撤退し、付加価値品への置き換えを進めるしかない。薄利多売と付加価値品への移行という両軸で事業を開いていく」

「付加価値品の開発研究所」が担う

加速には、研究開発体制の強化が必要です。

「顧客に近い材料評価環境を整えようと機器をそろえてきた。特に中型の電池を製造できる点が当社研究所の強みで、材料を電池に組み込んだ際のデータを顧客に示せる。4月には営業と研究を統合した事業本部制を導入した。顧客と研究人員との接触回数を上げ、顧客の課題解決を加速する。5年以上先に花開くテーマの研究開発は、同じく4月に新設した『京都中央研究所』が担う



「信頼のブランド」  
様々な場所で暮らしを支えます

発電所や変電所、鉄道、工場、ビル設備、環境施設など、不二電機工業の製品は人々の暮らしを支えるさまざまなかで活躍しています。

日本国内のみならず、米国、中国、中近東、東南アジアなどの国・地域においても重電機器や鉄道車両に組み込まれるなど、信頼のブランドとして広く認知されています。

制御機器の品質保証をすすめる  
ニッポンエレクトリックガラス

◎ 一電機工業株式会社

お問合せは  
こちら

URL: <https://www.fujidk.co.jp/>

E-mail : news-ri@fujiidk.co.jp

営業部／〒525-8521 滋賀県草津市野村3-4-1

TEL.077-562-1215 FAX.077-562-1213

ISO9001取得 ISO14001取得









# 京都企業 トップに聞く

(順不同)



## 培養肉でミャクミャク

コフロック社長 小島 望 氏

「半導体製造装置や半導体製造の付帯装置向けが多い。流体計測制御機器事業の状況は、メーカーが在庫を抱えていて、人工知能（AI）関連など的一部を除くと需要は回復していいな印象。装置の国産化を進める」

「中国の影響も大きく、構成するパーツも国産化の流れにある。ただ半導体製造装置向けで当社は後発。ゼロをイチにするトライに引き続き力を入れていく」

「海外の状況は、」

「中国は顧客となりうる企業が増え、大きくなっているので、そこに向けた対応も必要となる。現在、半導体製造関連市場向け流量計で現地生産ができる体制をつくる方向で動いている。東アジアでも引き続き事業拡大を推進中。直近では、実績がこれまで少なかつた台湾の半

A black and white portrait of Nakamura Michio, the president of NKE. He is a middle-aged man with glasses, wearing a suit and tie, looking directly at the camera.

# **Horizon**

# Change the focus

視点を変える。発想が変わる。未来が変わる。

既成概念にとらわれずシンカし続けることで、  
世界中の文化を今よりちょっとリッチにしたい。

キッカケはいつも、視点から。

ホリゾン・ジャパン株式会社 [www.horizon.co.jp](http://www.horizon.co.jp)

本 社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360  
東 京 支 社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083  
京 都 支 社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大殿町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025  
福 岡 営 業 所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112



**LE Carbo**  
リビット 精光グループ

## 真空浸炭熱処理

有効炉内寸法  
820mm(W)×1400mm(D)×1200mm(H)  
最大処理重量 1,000kg(グロス)

**LE Carbo**

長尺物、低歪  
最短納期  
小ロット対応

浸炭について、お気軽にお問い合わせください

**エルイーカーボ 株式会社**

〒601-8142 京都市南区上鳥羽中河原町22番地  
TEL.075-694-1138 FAX.075-694-1238  
E-mail le.carburizing@gmail.com

1989年開設の京都リサーチパーク (KRP) は全国初の民間運営サイエンスパーク。公的産業支援機関含む510組織、6,000人が集う。オフィス・ラボ賃貸、貸会議室、起業家育成、オープンイノベーション支援、セミナー・交流イベント開催など、新事業・新産業創出につながる多様な活動を行う。

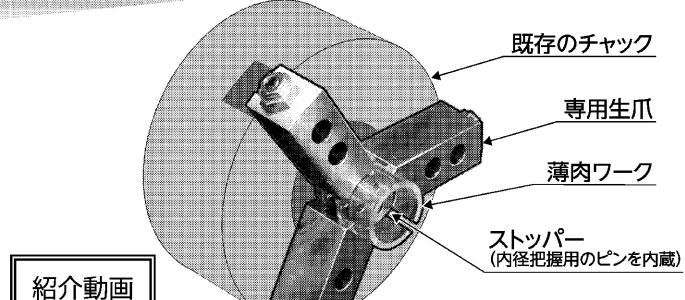
KRPは「京都からの新ビジネス・新産業創出に貢献する」というミッションを掲げ、研究者や専門家の先進的な環境技術やサステナブルな経営思考を発信している。持続可能な技術開発をテーマにしたセミナー、直近では企業のための生物多様性を学ぶ短期集中講座「京都大学ネイチャーポジティブスクール」を10月から12月の間で計5回開催する。

**京都リサーチパーク**

薄肉ワークの加工でお困りのお客様へ

《新商品》 [PAT.P]

## 薄肉加工用クランパー 『ジェントリークランプ』



紹介動画

既存チャックへ取り付け

既存のチャックに取り付け可能  
摘まむクランプで  
ブークを歪ませない!

**川田鉄工株式会社**

お問い合わせはホームページで

<https://www.touchdex.com>   
〒622-0213 京都府船井郡京丹波町須知本町40  
TEL.(0771)82-0003(代表) FAX.(0771)82-2018

京信について  
もっと深く!  
もっと詳しく!



京都信用金庫の取組を紹介!

京信のいちおし

**ICHIOSHI**

READ  
NOW  
→



**コミュニケーション・バンク京信**

京都市下京区四条通柳馬場東入立売東町7番地 TEL (075) 211-2111

「コミュニケーション・バンク京信」は、京都信用金庫のブランドネームです。

伝統と革新 世界の交差点へ 有力企業紹介(順不同)



メタバースでお茶

日東精工はモノづくりに欠かせないネジなどの工業用ファスナーやネジを締める自動組み立て機械、成分分析や流量計測などに使う計測・検査装置をグローバル展開し、年々事業領域を拡大させていく。創業の精神「地域産業の振興と地域の雇用創出」に則り、創業の地である京都府の綾部から世界のモノづくりを支えている。

クルマの電動化部品向け高機能ネジ、省人化に必須のネジ締めロボット、環境配慮製品のタップタイト(ネジ)、マイクロバブル(微細な気泡)生成装置、分析装置などを幅広く展開。成長著しいインダストリ進出にも着手した。世界中で認められ、求められる「モノづくりソリューションズグループ」を合言葉に、顧客の課題解決に挑む。

宮木電機製作所は産業用電気設備メーカーとして、1918年の創業から産業の発展と安全を支えてきた。特に防爆製品は、デジタル変革(DX)推進によるデジタル化や、人手不足による省力化・効率化、水素エネルギーへの対応など、これからの中未来に向けた多種多様な課題に対応した製品を開拓している。これらの製品で顧客ニーズに応え、主力である配電盤関連製品から防爆製品まで、一連の工場電気設備をワンストップで対応しているのも強みだ。

これからも「常に夢を追い続け、新しいモノを世に送り出し続ける技術開発型企業」を目指し、産業の安全と、安定稼働をサポートする製品群を通じて、産業発展に貢献していく方針だ。

**日東精工**

**宮木電機製作所**

壬生電機製作所は1950年の創業以来、社会インフラ向けの電気機器、配線器具、電気電子制御装置の開発・製造・販売を通じ、社会の発展に貢献してきた。主力製品である端子台に加え、LED照明や各種スイッチ・銅帯加工品など、制御盤・配電盤に使用される製品を中心に開発・製造・販売している。

89年から展開する電気配線用プリンター「MPシリーズ」は、産業機器製造に必要な記録板やチューブなどへ高速かつ高精度でプリントできる。同シリーズ最新の「MP-60N/B」は他社との連携でCADデータとのリンクなどを強化し、人手や時間のかかる作業を短縮できるのが特長。人手不足が深刻化する中、現場の声に寄り添い、開発を進めていく方針だ。

**壬生電機製作所**

光伸舎はカメラや光センサーを用いて多様な製品の数を数える装置「計数機」を手がけるメーカー。カット野菜や冷凍食品、ネジやボルトといった金属部品、化粧品や医薬品、種苗など、数えにくいとされる物も含め、高速かつ正確に数える。

計数機は搬送機や包装機と連動可能で、「運ばれてきた物を100個ずつ数えて袋詰めする」などの動作を自動化することもできる。また、計数機と顧客のシステムを連携させ、生産ログ(履歴)の保存や分析、装置情報の自動バックアップなど、デジタル変革(DX)化や事業継続計画(BCP)対策につながるソフトウェアも開発するなど、顧客ニーズの業務の自動化、効率化、作業品質向上を支援する。

**光伸舎**

ジーマックスは40ミリ×40ミリ寸を標準とする汎用型ペルチェ素子を世界展開する。中国河北省の自社工場で生産するペルチェ素子は、熱対応力を緩和する構造を採用し、低価格ながら高信頼性を実現。電気自動車(EV)や半導体製造装置、医療機器をはじめ、家電、厨房機器など幅広い分野で採用されている。

半導体製造装置向けでは、シリコンウエハーの処理工序での温度制御に、同社のペルチェ素子が使用されている。精密な温度調整はもちろん、システムの小型化も可能として採用が広がる。9月には半導体関連の展示会「セミコン・台湾」へ出展し、12月開催の「セミコン・ジャパン」にも出展予定。半導体製造装置関連の需要取り込みに力を入れている。

**ジーマックス**

カシフジは歯車加工機を軸に各種工作機械を手がけ、主力のホブ盤では業界トップシェアを誇る。電動化が進む自動車などに使われる歯車はより高精度化が求められている。歯車精度は、エネルギー消費や発電量を左右する。持続可能な社会の実現に精度向上は欠かせない課題だ。そして「人型ロボット」に使用される歯車の需要が急ピッチに伸びており、小径歯車加工機への販路拡大を進める。

国連の持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みは、工作機械のリユースなどを進め、環境負荷低減への挑戦と女性雇用を促進する。6年連続で経済産業省の「健康経営優良法人」認定を受け、社員の健康と生活を守り、人に優しい機械造りで社会貢献を目指す。

**カシフジ**

回せ、時代を。  
動かせ、世界を。

**Kashifuji**

Since 1913

最先端の歯車加工技術を京都から

**OUR GEARS DRIVE  
THE WORLD INTO  
THE FUTURE**

油燃料だけでなく、  
アンモニアやメタノールにも最適。  
これからも頼りになる、サンフレームの  
ロータリカップバーナ。

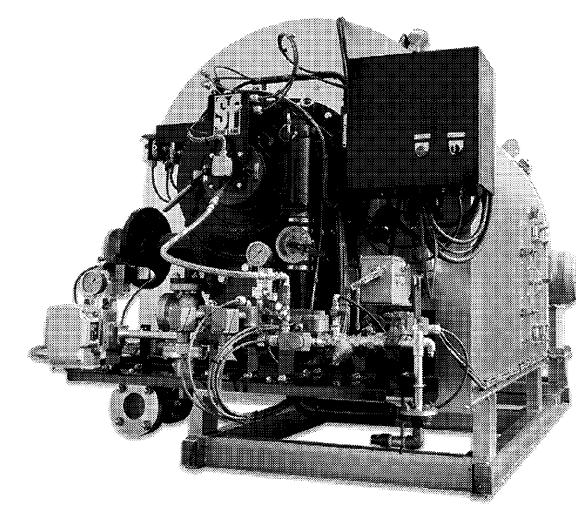
**LNG/アンモニア対応製品**

補助ボイラ用バーナ

GCU(Gas Combustion Unit)

**メタノール対応製品**

補助ボイラ用バーナ



アンモニア対応GCU (Gas Combustion Unit)

\*画像はイメージです。実際の製品とは異なる場合がございます。



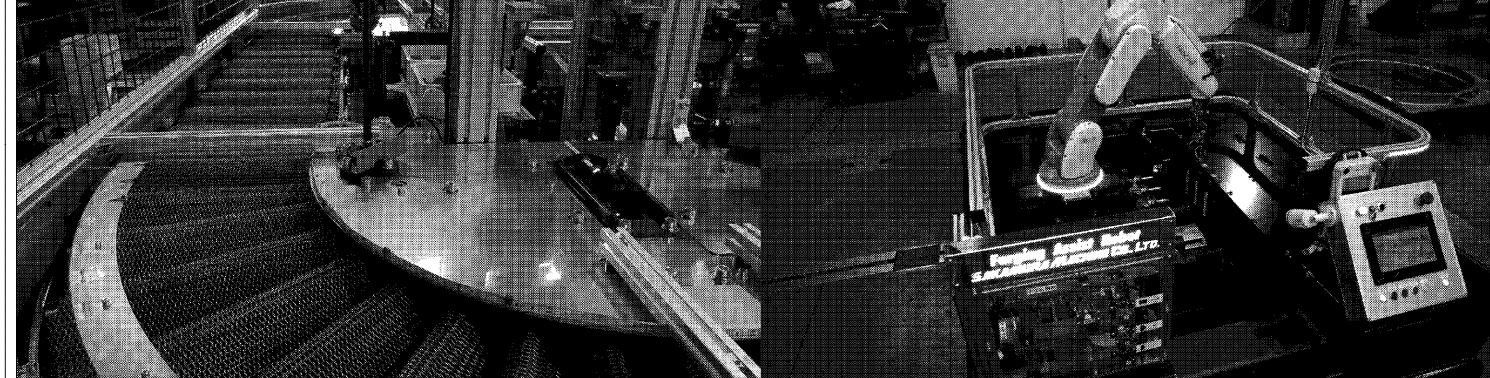
**株式会社サンフレーム**

<http://sunflame.net/>

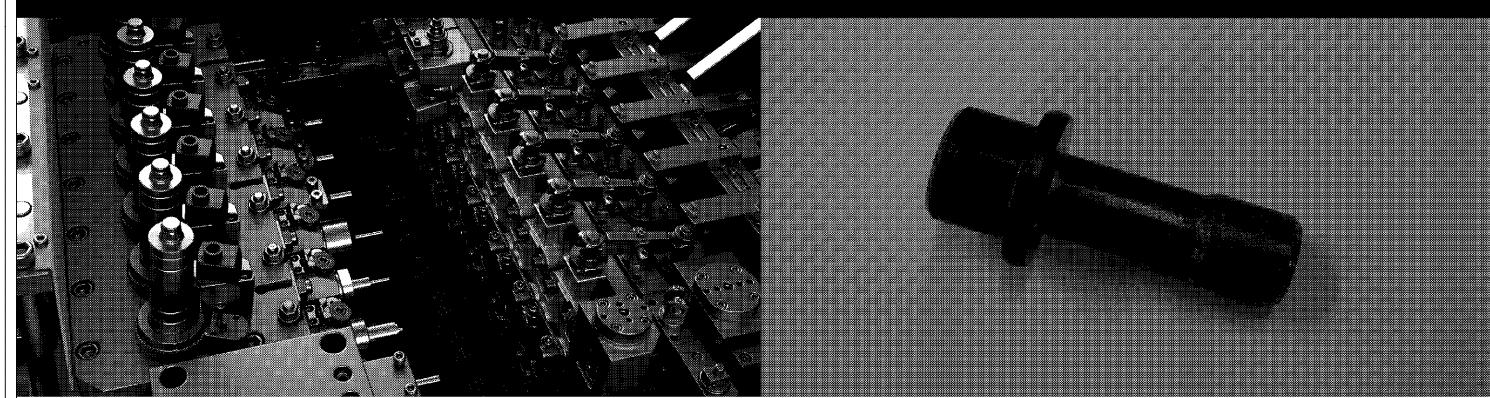
〒611-0033 京都府宇治市大久保町西ノ端1番30

TEL: (0774) 41-3310 メール: info@sunflame.net





## 受け継ぐ心 進化する技



約70年にわたりフォーマーの可能性を追求してきたサカムラは、ものづくりのDNAを受け継ぎつつ、さらなる飛躍へと挑戦続けています。顧客の声から生まれた革新的なコンペアや、協働ロボットを取り入れた周辺技術開発などで、フォーマーの性能を次のステージへ。

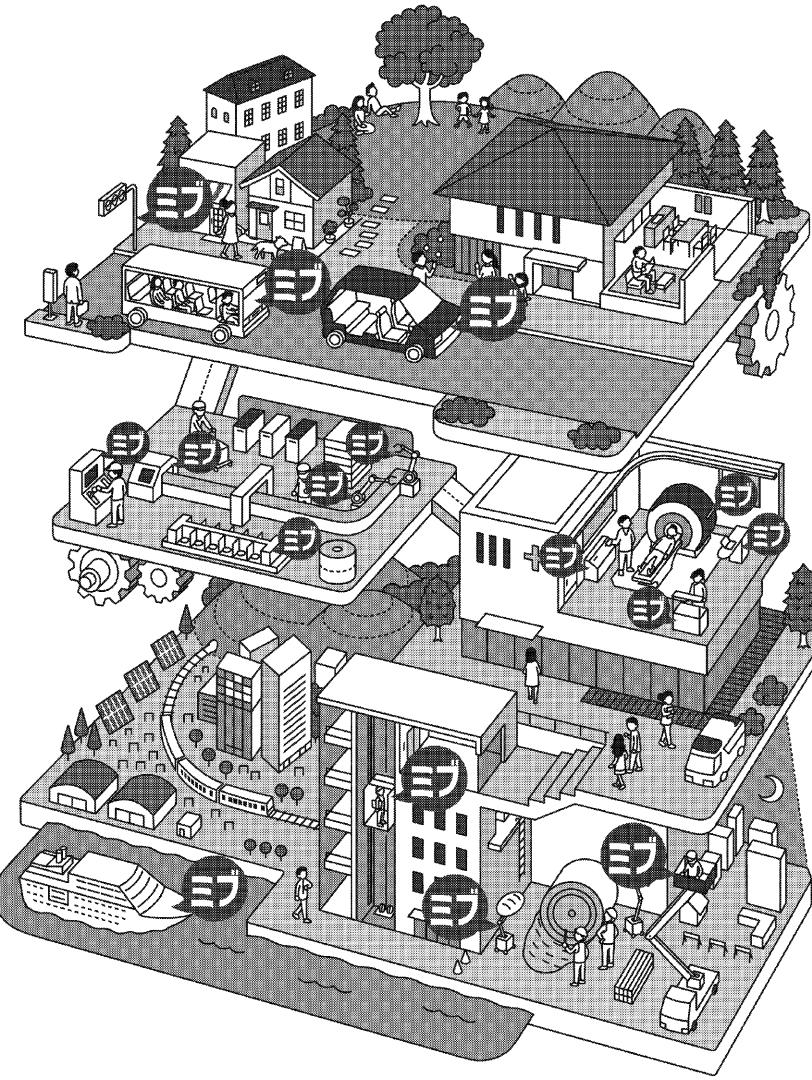
顧客第一主義に徹し、パフォーマンスNo.1の塑性加工技術とサービスを追求する

Simple Speed, Service  
**SAKAMURA**

株式会社阪村機械製作所  
京都府久世郡久御山町下津屋富ノ城46  
<https://www.sakamura.org>



暮らしがどこかで  
電気をつなげる。



## 株式会社壬生電機製作所

TEL:075-681-8561 <https://www.mibudenki.co.jp>



伝統と革新 世界の交差点へ 有力企業紹介（順不同）

阪村ホットアートは、日本国内で唯一の横型熱間フォーマーのメーカー。同社が手がけるのは加熱した金属を成形する横型の多段式鍛造機械で、世界でも同社を含めて2社しかいない。「横型熱間フォーマーのエキスパート」として、設計、製造、設備立ち上げ、アフターメンテナンスまでのトータルプロデュースをしている。

これまで、高強度の建材用ハイテンションナットやペアリングの外内輪、自動車部品などを高速で鍛造できる工法を確立。新しい鍛造工法や、生産性向上などの新しい技術開発への継続的な取り組みを通じて、持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する省資源、省エネにつなげ、常に顧客のニーズに応える設備を提供している。

### 阪村ホットアート

歯科材料・機器総合メーカーである松風。国産初の高級陶歯を開発した創業者のベンチャースピリットを受け継ぎ、1922年の創業以来、数々の「世界初」「日本初」製品を生み出してきた。海外市場に注力する現在、115カ国以上に製品を供給している。

進行中の第5次中期経営計画では、長期ビジョンに掲げていた連結売上高500億円の2028年3月期達成を目指している。計画実現のため、世界の需要増に対応すべく24年、中国に設けた製造会社本稼働に向けた準備をするほか、本社新工場の建設を進めるなど生産能力拡大のため、かつてない規模の投資を行う方針。歯科医療への貢献を通じて、世界中のひととの生活を支える企業を目指す。

### 松風

山岡製作所は超精密領域での金型製作を強みにプレス機や省人化機器などを手がけ、近年は次世代電池関連でも存在感を示す。ミクロンオーダーの部品加工や極小穴加工、高硬度材の鏡面仕上げといった高難度の要求に、培った職人技と最新加工機の融合で対応。創業90周年を控え、半導体や電子部品、自動車、医療、食品など多様な業界で積み重ねた実績がその証といえる。

次世代のリチウムイオン電池の開発や製造工程などに用いられるアルミニマネート成形・折り金型、タブ処理金型、リード検査機を市場投入。金型と装置の一貫対応で開発から量産までのスピードと品質を両立し、顧客の量産時の品質を支える『金型の力』をモノづくり現場へと届ける。

### 山岡製作所

桶谷製作所は製造装置向け大型部品の機械加工・製造に加え、現在は装置の組み立てや設置、解体、移設、周辺部品製作まで領域を拡大し、製造装置に関するソリューションサービスを幅広く展開する成長企業。京都を拠点に大阪市、名古屋市、横浜市、福岡市で営業所を構え、半導体や自動車部品、電池、電子部品、工作機械、産業機器、素材関連の業界など、顧客は海外含め200社を超す。

調達面では工場や国内サプライヤーの品質管理体制を強化しつつ、ローコスト調達する商社機能も推進する。海外に精通した外国人スタッフも各事業所と海外の現地に配置し、積極的に海外サプライヤーを開拓。将来を見据え、グローバル事業拡大への布石を打つ。

### 桶谷製作所

大阪ガスが中心のD a i g a sグループは、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)と水素を合成した未来の都市ガス「e-メタン」の製造技術開発に取り組んでいる。e-メタンは大気中に放出されたり、すでにあるCO<sub>2</sub>を回収し、リサイクルして作る。このため、燃焼しても大気中のCO<sub>2</sub>は実質的に増えず、カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)社会に貢献できる。

e-メタンは都市ガスの原料である天然ガス主成分のメタンと同じで、既存の導管網やガス機器をそのまま利用でき、社会インフラへの投資コストを抑制できる。同グループは気候変動をはじめとする社会課題の解決に取り組み、暮らしとビジネスの『さらなる進化』への貢献を目指す。

### 大阪ガス

タナカ善は京滋地域が基盤の機械工具商社。工作機械や切削工具などを扱い、販売から据え付けまでを一貫して担う。顧客ニーズの低価格で高品質なエンドミルなどの自社ブランド品も手がけ、オンラインショップなどを通じて迅速提供する。

今年は創業75周年。多くのステークホルダーからの支援のたまものとし、100周年に向けさらなる成長に挑む。京都市内で今春開いた主催展示会「京滋マシン＆ツールソリューションフェア」には過去最高の107社が出展。来場数も記録を更新し、活況だった。

省力化や自動化、ロボット技術でのつくりの課題を解決し、人手不足時代に最適なソリューションで効率的かつ安定した顧客の生産体制実現を支える。

### タナカ善

10月、創業80周年を迎えた星和電機は産業用照明のパイオニア。京都府城陽市に本社・工場を構え、道路情報表示システムや道路照明、ノイズ対策製品などを手がけている。防爆エリアや高温対応など、多様な環境に対応した製品を展開しており、近年は安全、省人化、遠隔監視機能を備えた多機能照明やシステム製品に注力する。

多機能照明の新製品、白色と有色の切替で異常や危険を効果的に現場に知らせる「防爆形サインLED灯器具」と、タンク内部の遠隔監視で省人化に貢献する「防爆形カメラ付LED透視灯」を発売した。システム製品では、危険場所の状況を遠隔監視し、安全性と生産性を向上する「防爆形ネットワークカメラ」を市場投入した。

### 星和電機



CO<sub>2</sub>を詰めたボンベ缶とCO<sub>2</sub>が原料の器

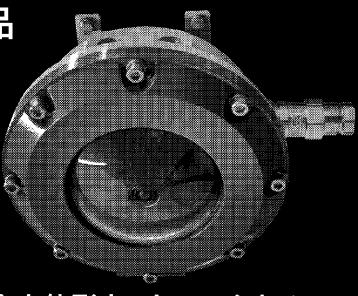
変わらぬ製品に込めた想い・

Since 1918

**MIYAKI**  
ELECTRIC.MFG.CO.,LTD.

常に夢を追い続け、新しいモノを世に送り出し続ける技術開発型企業

新製品



株式会社宮木電機製作所

本社 TEL: 0771-24-7401  
〒621-0013 京都府亀岡市大井町並河3-16-18  
東部営業所 TEL: 045-507-2270  
〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央5-4-10 ベルス・ペイサイド502  
名古屋営業所 TEL: 052-241-8525  
〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須4-9-79 大須TNビル6F-A  
西部営業所 TEL: 075-841-5321  
〒604-8431 京都府京都市中京区西ノ京原町99



<https://www.miaki-elec.co.jp/>

冷却技術のプロとして  
商品開発に関する課題を  
テクニカルに解決します。

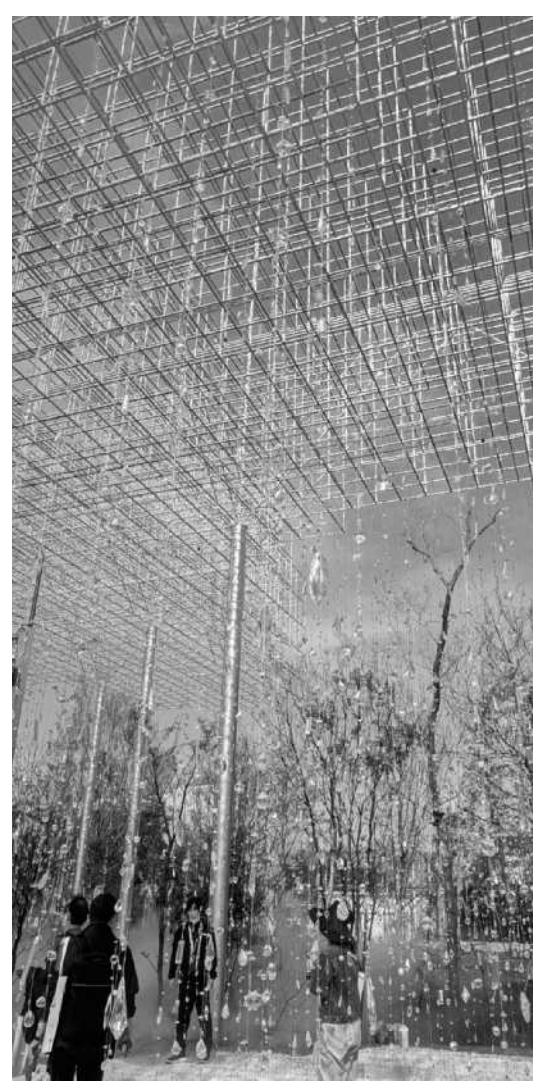


冷却半導体(ペルチェ素子)・小型冷蔵庫・ワインセラー

TECHNICAL INNOVATION

**Z-MAX**

URL [www.z-max.jp](http://www.z-max.jp)



シゲチャーパビリオン Better Co-Being



信頼の絆で  
お客様とともに歩む  
ビジネスパートナー



未来を預かる、未来を運ぶ  
株式会社 中央倉庫

(東証プライム: 9319)

本社／〒600-8843 京都市下京区朱雀内畠町41番地  
<https://www.chuosoko.co.jp>



中国を中心とした海外調達を積極的に進めています。

高品質

短納期

低価格

を保証

製造設備技術の総合商社  
株式会社 桶谷製作所

本社 〒601-8203 京都市南区久世築山町376-7 TEL 075-922-9409

URL:<https://www.e-oketani.co.jp/> E-MAIL:[oketani@e-oketani.co.jp](mailto:oketani@e-oketani.co.jp)

桶谷製作所

検索

関東事業所、東海事業所、九州営業所、大阪事業所、韓国営業所、久世工場、久御山工場、伏見工場、上島羽工場

村田機械は1935年創業のFA（工場自動化）・OA機器メーカー。織機械や物流システム、FAシステム、クリーンルーム用FAシステム、工作機械、板金加工機などの産業機械に加え、製造業向け生産管理システムやデジタル複合機をはじめとする情報機器など、多岐にわたる事業を展開している。

クリーンFA事業は「Future Train」をコンセプトに掲げ、半導体製造前工程の搬送システムだけでなく先端パッケージングやクリーンルーム外の搬入・出荷エリアを含む工場全体の自動化を手がける。同社の天井走行式無人搬送システムは、搬送台車の動作性能に加え、高いシステム制御技術が強み。

## 村田機械

ホリゾンは印刷後の後加工を行う製本機器事業を主力として「印刷製本工場の自動化」を掲げ、高度な自動制御を取り組む。スキルレスで扱える製本機器は、同社製マネジメントシステム「i C E L i N K」に接続することで、クラウド経由で一元管理が可能になり、上流システムとの連携やメンテナンス管理、生産性の見える化を実現する。

2019年からは自社製品と協働ロボット・無人搬送車（AGV）・自律移動ロボット（AMR）などの工場自動化（FA）機器を組み合わせたファクトリーオートメーションを展開・提案。トレンドやニーズに柔軟に対応することで世界トップクラスのシェアを誇り、業界内で唯一無二の地位を確立している。

## ホリゾン

リヒト精光グループのエルイーカーボは2019年5月に新工場を稼働した。大型真空浸炭炉を2基導入。より高品質で、金型や機械部品などで欠かせない高い耐摩耗性などの熱処理を手がけている。特に真空浸炭焼き入れを中心に短納期の提供を心がけている。

浸炭熱処理は表面層の硬化を目的に、炭素を添加する処理。耐摩耗性や耐久性、韌性（じんせい）などの向上に役立つ。新工場では1100tまで縦で挿入でき、幅820mm、奥行き1400mmの有効寸法を誇る。熱処理歪みの低減に役立ち、顧客が求める浸炭防止や浸炭深さなどの要望に誠実に対応している。顧客の製品に高品質熱処理を施し、付加価値を高めるという同社のこだわりで貢献していく。

## エルイーカーボ

中央倉庫は物流で社会を支える。国内品はもとより、海外品の取り扱いにもニッチなサービスを提供する。輸入は工業原料が中心で、日本全国で顧客に最適な荷揚げ港を提案できる。さらに港と内航船、トレーラー、トラック、内陸倉庫を組み合わせ、中継輸送も含めた複合的な物流ネットワークを構築。荷姿変更などの加工業務にも強みがある。輸出は専門技術を持つ部門を有し、工場設備や精密機械・部品の搬出入から輸送、輸出梱包、通関まで一貫した機能を提供する。

近年は廃ペットボトル再資源化事業にも参画し、新しいスタイルの物流機能も有する。信頼され、打ては響く物流パートナーとして、顧客の経営課題解決に誠実に応える。

## 中央倉庫

川田鉄工の新型治具「ジェントリークランプ」は、薄肉で中空形状の加工対象物（ワーク）を歪ませずにクランプ（固定）する。既存のチャックにも取り付け可能な点が特徴で、油圧や空圧、手締めのスクロールチャックなどで、加工に合わせた成形ができる生爪を使用するチャックを対象とする製品だ。

専用の生爪のセルフカットと、チャック中央に円柱状のブロック（ストッパー）を取り付けて把握力を調節することで設置が完了する。爪が閉じると内部のリンク機構でワーク内径を押さえるピンが突出。爪とピンでワークの内外径を摘要するようにつかむことでワークを歪ませずにチャッキングができる。ユーザーに合わせた受注生産で対応している。

## 川田鉄工

阪村機械製作所は横型多段式鍛造機械「フォーマー」のトップメーカーとして40カ国以上に7000台を超える納入実績を持つ。1955年に国産初のボルトフォーマーを開発して以来、約70年にわたってさまざまなフォーマーを開発してきた。現在はフォーマーの開発にとどまらず、「ないものを作り出し、ほしいを、カタチに」を開発ビジョンに、フォーマーの付帯設備開発にも力を入れる。

例えば、打痕傷をつけない部品取り出しロボットとコンベヤーのラインや、環境に配慮したオイルの汚濁対策などだ。ほかにも協働ロボットを採用し、切断ブランクや各工程のブランクを取り出して検査するシステムなど、常に新しい取り組みに挑戦している。

## 阪村機械製作所

三菱ロジスネクストは、倉庫から工場、港湾まであらゆる物流シーンをカバーする総合物流機器メーカー。バッテリーワーク式やエンジン式フォークリフト、無人搬送システムといったハードとソフトの両面から、さまざまな顧客のニーズに応えるソリューションを提供している。

その100%子会社として国内で各種商品の販売・サービスを行ってきた直系販売会社8社が一つになり、2025年10月1日付で新会社「ロジスネクストジャパン」としてスタートした。国内市場向け販売・サービス事業やマーケティング機能の統合による効率性の高い事業運営を実現。顧客へのソリューション提案とサービスのさらなる充実で、物流分野の課題解決への貢献を追求する。

## 三菱ロジスネクスト

# 伝統と革新 世界の交差点へ 有力企業紹介（順不同）



フューチャートレイン

## F.S.

# 内部加工工具

●内面取り ●ドリル加工 ●ウラ座ぐり加工

### IC-D型

面取能力：下穴径20φで2C程度  
付属の面取カッター（23φ）

■特長 ①従来不可能であったインサイド側からの穴明、面取、座ぐり等が可能になりました。

②逆転機能のあるボール盤ではタップ加工も出来ます。

◎通常付属品  
面取りカッター（23φ）コレット、着脱具各1個

●市販のドリル（※回数比は1/2に減速されます）

### LG型

■特長 ①ホルダーは取り替え式ですのでワークの加工径、長さに合わせて選んでご使用いただけます。（本体は共通）

②カッターはネジ式ですので簡単に交換でき、大変経済的です。

③ホルダーは市販のコードレスドライバーなどで手持ちにて使用でき、屋外での作業や重量物の内面取りも可能です。

※別売りのリーバーが必要、10LG型ホルダーを除く



### ■特長

#### IC-D型の強力型

※別注加工も承ります。ご相談下さい。

### ◎通常付属品

面取りカッター（23φ）コレット（Bφ）、着脱具各1個

株式会社 藤居製作所

〒613-0023 京都府久世郡久御山町野村村東178-1 FAX.075-631-7348

075-631-7370



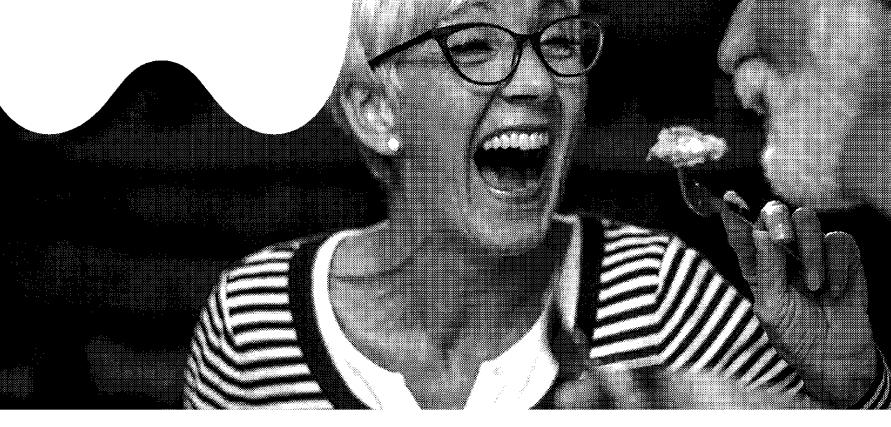
しっかり噛んでおいしく食べる、自分らしい素敵な笑顔で思いっきり笑いあう、毎日を心から楽しむいきいきと過ごす。

歯周病などの歯科疾患が全身の健康にも影響を及ぼすことが知られるようになった近年、人が豊かな生活を送っていくためには、歯とお口の中を健康に保つことが欠かせません。

松風は、創立当初から現在にいたるまで、治療ニーズに合った歯科材料や機器を開発することで歯科医療に貢献し、世界中の人たちの幸せな日常を支えてきました。次の100年も、私たち松風は歯科器材の総合メーカーとして、より一層世界の歯科医療に貢献していくことを心に誓い、挑戦を続けてまいります。人々の、噛む、笑う、生きる、を支えるために。



噛む、  
笑う、  
生きる、  
を支える。



世界の歯科医療に貢献する  
株式会社 松風

松風



たけびし テニス部

### イベントもりだくさん 社内の雰囲気作りの源

たけびしのテニス部は、創部50年以上の歴史を持ち、社内でも長く親しまれている部活動。経験の有無を問わず、若手からベテランまで誰でも気軽に参加できる点が特徴です。

部活動は定期練習会や社内大会だけに留まりず、テニス部主催のBBQや懇親会を開くなど、イベントはもりだくさん。多くの社員が参加し、部門を超えたつながりが生まれることで、業務における部門間連携や製品知識の共有、仕事の質向上にもつながっています。

テニス部以外にも、野球部やサッカーチーム、軽音楽部、バレーボール部、ハンドミントン部があります。イベントや部活動を楽しむ社員は多く、社内の和気あいあいとした雰囲気づくりの源になっています。

【技術商社】



イシダ ボードゲーム部

### 戦術的コミュニケーション 大人も子供も熱中

イシダのボードゲーム部は約30人の社員が所属し、社員の家族も混ざる形で子どもから大人までの幅広い世代が戦術的なコミュニケーションに熱中し、活発に活動しています。

部活動を通じて、部署や世代を超えたフレッシュな交流が活性化。多くの仲間ができ、仕事上での些細な困りごとも気軽に協力してもらえることが増えました。

会社からは活動に応じて助成金の支給があり、会社の保養施設を活動場所に利用できるなど、社員の自主的な活動が手厚くサポートされています。今後は事業拠点を超えて、さらに多くの社員がボードゲーム上で交流できる場になります。

【計量・包装機器メーカー】

コロナ禍以降、社内の会合やコミュニケーションが減ったという話をよく耳にする。では、部署や世代を超えた人間関係を構築でき、モチベーションやエンゲージメント、ウェビーニングなどの向上にもつながる部活動やサークル活動は今、どうなっているのだろう。一時期はやつたオフィスのフリーアドレスやオープンスペースだけでは構築できない深い絆が築け、企業文化の醸成、交流活性化によるイニシアチブ創出などが期待でき、定着率が高くなるとの分析もある。

元気な京都企業で活発に活躍する部活、サークル活動を紹介する。



カシフジ 野球部



### 一球先を想定してプレー 勝利の喜びを共有

私たちカシフジの軟式野球部は、京都府軟式野球連盟伏見支部A級に所属し、創部50年以上の歴史を持つチームです。野球経験者から初心者までの幅広い世代が在籍し、限られた練習時間の中で部署を超えて交流を深めています。年間約10試合に出場。樂けの中に厳けもあり、チームプレーを大切にしながら、勝利の喜びを共有することは、何ものにも代え難い事です。攻守で常に1球先を想定してプレーをする事は、仕事の場での判断力向上に役立ちます。

今後も部活動を通じ、健康維持や職場のコミュニケーション向上に貢献できるよう活動を続けます。

また、本社工場の屋上にはフットサルや野球などが楽しめる運動場が整備されていて、昼休みや就業後に自由に利用することができます。

【歯車加工機メーカー】



アークレイ 健康麻雀サークル

### 判断力と集中力を養う 真剣勝負とコミュニケーション

4月に発足したアークレイの健康麻雀(マージャン)サークル「一氣通貫」は、健康麻雀(賭けない・飲まない・吸わない)を通じて部署や役職を超えた交流の場を提供しています。現在のメンバーは47人。定時後に社内食堂や多目的スペースを活用し、和気あいあいと活動中です。麻雀は運だけでなく、判断力や思考力が問われる頭脳スポーツ。業務にも通じる冷静な判断力、集中力を養う機会にもなっています。

休日を使った先日の大会には20人が参加し、真剣勝負を通じて互いの理解を深め、社内の新たなコミュニケーション文化を育みました。新しいサークルながら、活気にあふれて、社内のつながりを強める場として活用してもらっています。

【医療用検査システム・機能性食品素材メーカー】



三洋化成 剣道部

### 地域交流は刺激で貴重な機会 技術に加えて姿勢と礼節

三洋化成の剣道部は本社敷地内の道場で活動しています。新入社員から管理職、OBまでの14人が所属し、経験者や入社後に始めた人など、剣道歴はさまざまです。稽古は長年ご指導を仰ぐ範士八段(剣道の最高位)の師範のもと、技術だけでなく姿勢と礼節を重んじ、集中力や安全意識の向上、部門横断の対話にも良い影響を受けています。部活と共に汗を流し、互いに高め合う時間から世代や部署を超えて交流が生まれ、業務の連携も円滑になっています。

地域の方々にも活動を解放し、近隣に住む十数人の有志とも一緒に活動しています。地域交流は部員にとっても刺激で貴重な機会。今後も地域とともに心身の健やかな成長を目指して活動を続けています。

【化学メーカー】



## 宝グループは3つの領域を通して、 世界に笑顔を広げます。

宝グループの2つの事業領域と  
2050年に向けた新たな価値創造領域

### 「新しい領域で価値を創る」

従来の食と健康という領域を越えて、  
食料不足、環境問題などの社会課題の解決に、  
バイオテクノロジーによる  
新たな価値創造で貢献します。

酒類・日本食材領域  
「和酒・日本食を  
世界の日常に」

ライフサイエンス産業支援領域  
「健康を一人ひとりへ」



笑顔は人生の宝  
Smiles in Life

「タカラ」と聞いたら、

皆さんはお酒をつくる会社だと思われるでしょうか。

間違いではありませんが、

宝グループが本当につくりたいのは「笑顔」。

たくさんの笑顔で、あなたの人生を満たしたいと考えています。

笑顔は人生の宝。

宝グループは人々の豊かな食生活と、

健やかな人生に欠かせない存在となり、

さらにバイオテクノロジーの力で、

フードテック、スマート農業、未利用バイオマス活用など、

既存の事業領域にとどまらない新たな価値を創造して、

世界中に笑顔を広げるための挑戦を続けます。

宝グループは2025年で創立100周年を迎えました

**宝ホールディングス株式会社**

宝酒造株式会社 / 宝酒造インターナショナル株式会社 / タカラバイオ株式会社

「宝グループ  
長期Vision 2050  
詳しくはこちら

